

ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアップ・プログラム 参加のみなさまへ：新型コロナウイルス感染症対策のためのお願い

ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアップ・プログラムでは、「新しい生活様式」に沿って、実施のための指針を以下のように定めました。

1. 手洗いの徹底：スタッフ、参加者ともに、来所時には手指の消毒と手洗いを徹底すること
2. マスクの着用：スタッフ、参加者ともに、双方マスクを着用すること
3. スタッフと参加者の間隔：個別グループで検討の際には2mの間隔をあけること
4. 体調チェック：来所日には検温し、発熱（目安37℃以上）や風邪等何らかの症状があるときは来所を控えること

以上の指針に従って、感染予防のため、具体的に以下の対応を行いながら本事業を実施いたしますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

来所前

1. 来所前に検温していただき、発熱等がある場合は来所を控えてください。
2. スタッフは14日前から連続して検温しております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大状況等によってはやむを得ず、日程の変更等が生じるかもしれません。その場合は速やかにご連絡差し上げ、状況に応じて再度日程を調整させていただきます。

来所時

3. 附属研究所1Fおよび会場出入口に消毒液を設置しております。来所時に必ず手指の消毒を行ってください。

グループワーク中

4. 学習室開催中は寒暖に関わらず、窓を開けて換気を行いますので、ご了承ください。

開催前後

5. 毎回、椅子、机等の接触部分を消毒いたします。

福岡県立大学大学院心理教育相談室
室長 吉岡和子